

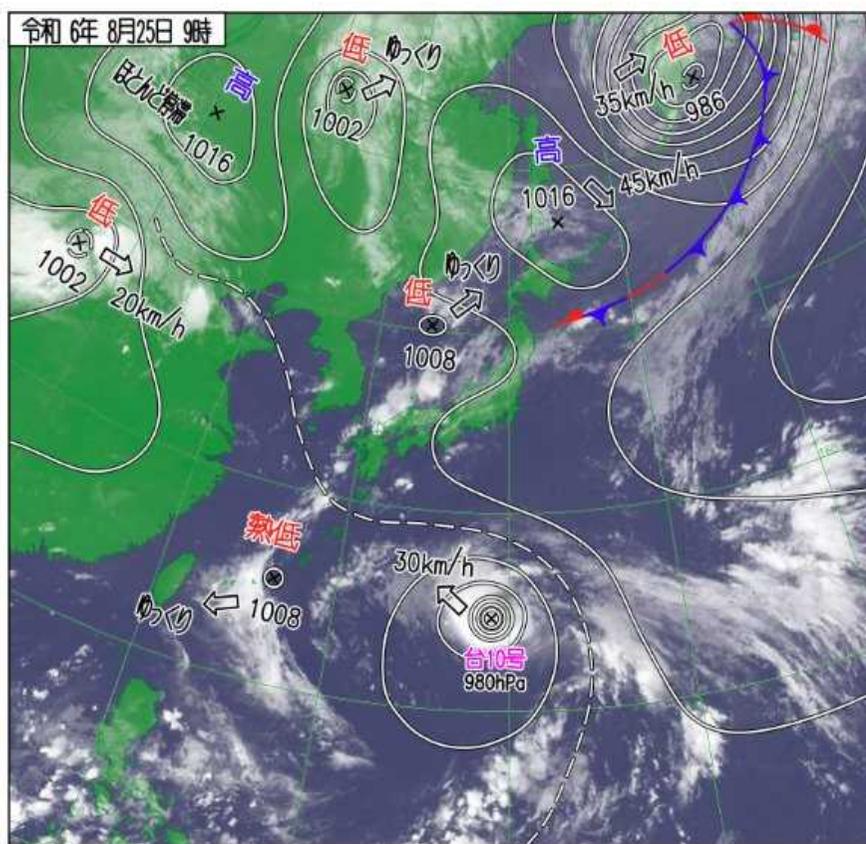
台風第10号に関する説明

大阪管区气象台気象防災部予報課

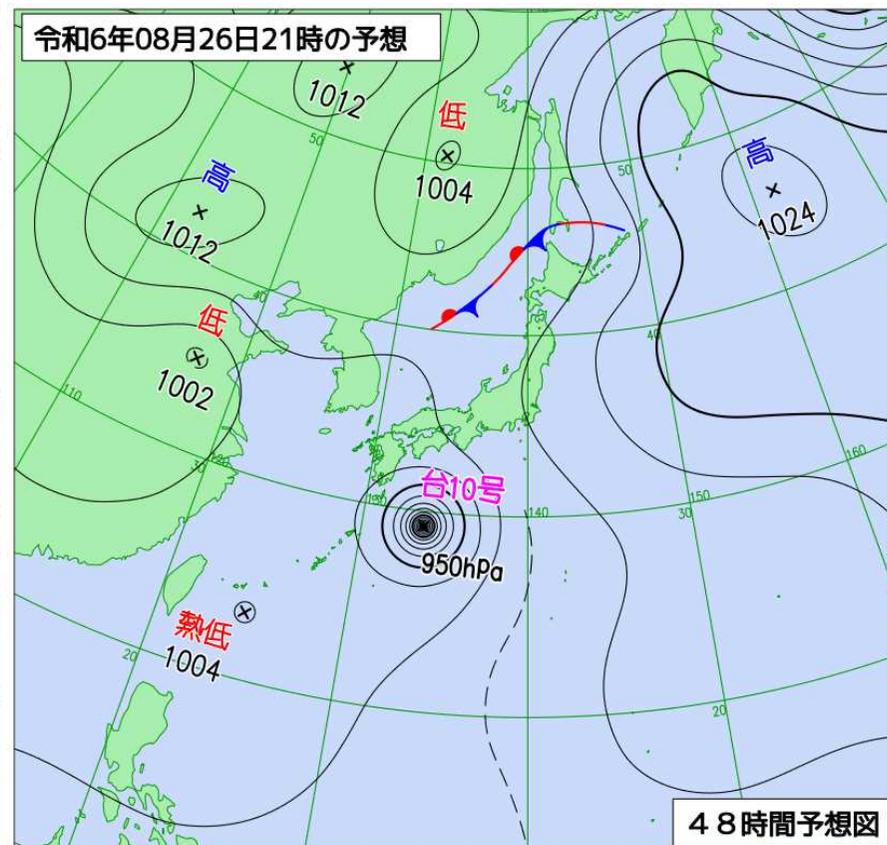
この資料は、8月25日11時時点の予想に基づいて作成したものですので、最新の気象情報は、气象台ホームページから確認ください。

- ① 台風第10号は、強い勢力を維持したまま28日頃には近畿地方に接近するおそれ。
- ② 近畿地方では、27日から28日頃を中心に暴風や警報級の高波及び警報級の大雨となる可能性がある。
- ③ 近畿地方では、28日頃は警報級の高潮となる可能性がある。
- ④ 台風第10号は、28日頃には近畿地方に接近します。不要不急の外出は控えてください。

令和6年8月25日09時



令和6年8月26日21時の予想

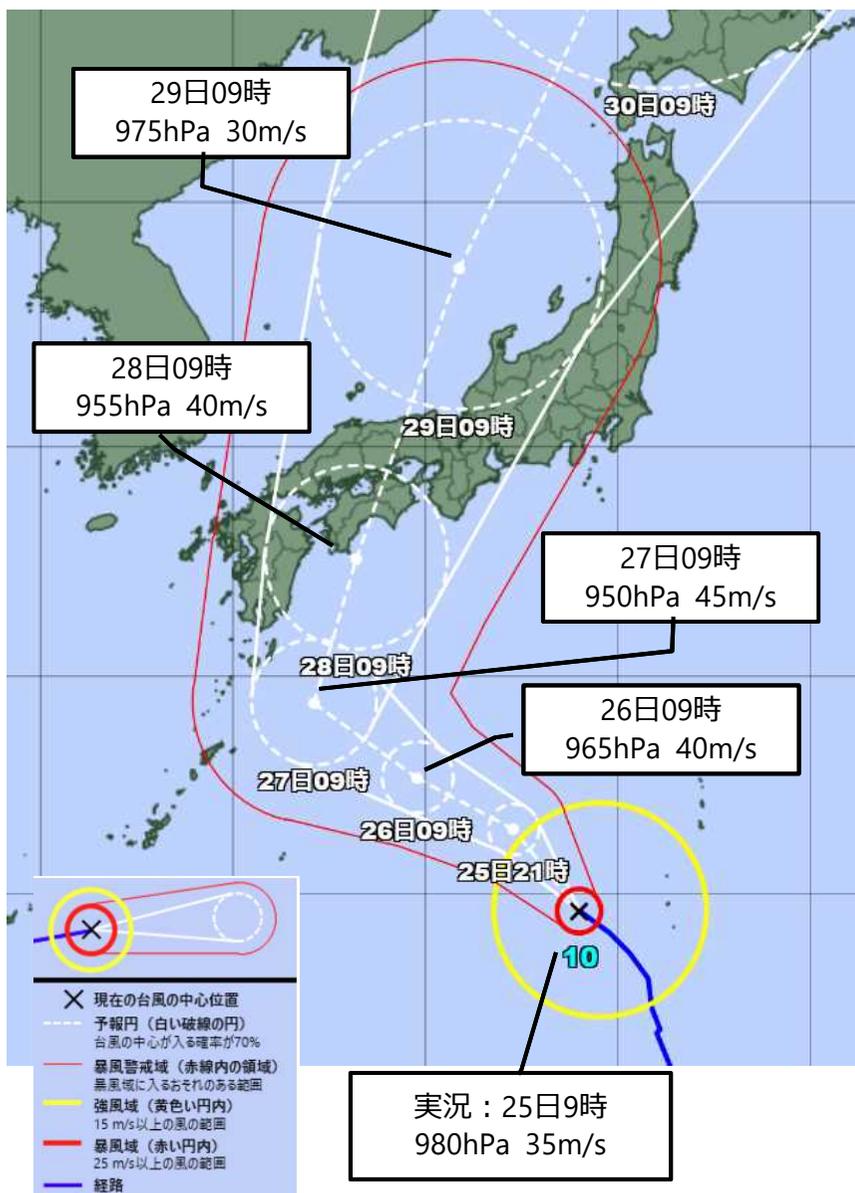


- 台風周辺には発達した雨雲が広がっている。

- 台風第10号から離れていても、暖かく湿った空気が流れ込み、局地的に大雨のおそれがある。

令和6年台風第10号の進路予想

25日9時現在



実況：25日9時
980hPa 35m/s

25日9時実況

25日09時の実況	
種別	台風
大きさ	-
強さ	強い
存在地域	日本の南
中心位置	北緯24度35分 (24.6度) 東経139度00分 (139.0度)
進行方向、速さ	北西 30 km/h (16 kt)
中心気圧	980 hPa
中心付近の最大風速	35 m/s (65 kt)
最大瞬間風速	50 m/s (95 kt)
25m/s以上の暴風域	全域 55 km (30 NM)
15m/s以上の強風域	東側 330 km (180 NM) 西側 220 km (120 NM)

27日09時の予報

27日09時の予報	
種別	台風
強さ	非常に強い
存在地域	日本の南
予報円の中心	北緯29度25分 (29.4度) 東経132度05分 (132.1度)
進行方向、速さ	北西 15 km/h (7 kt)
中心気圧	950 hPa
中心付近の最大風速	45 m/s (85 kt)
最大瞬間風速	60 m/s (120 kt)
予報円の半径	155 km (85 NM)
暴風警戒域	全域 310 km (165 NM)

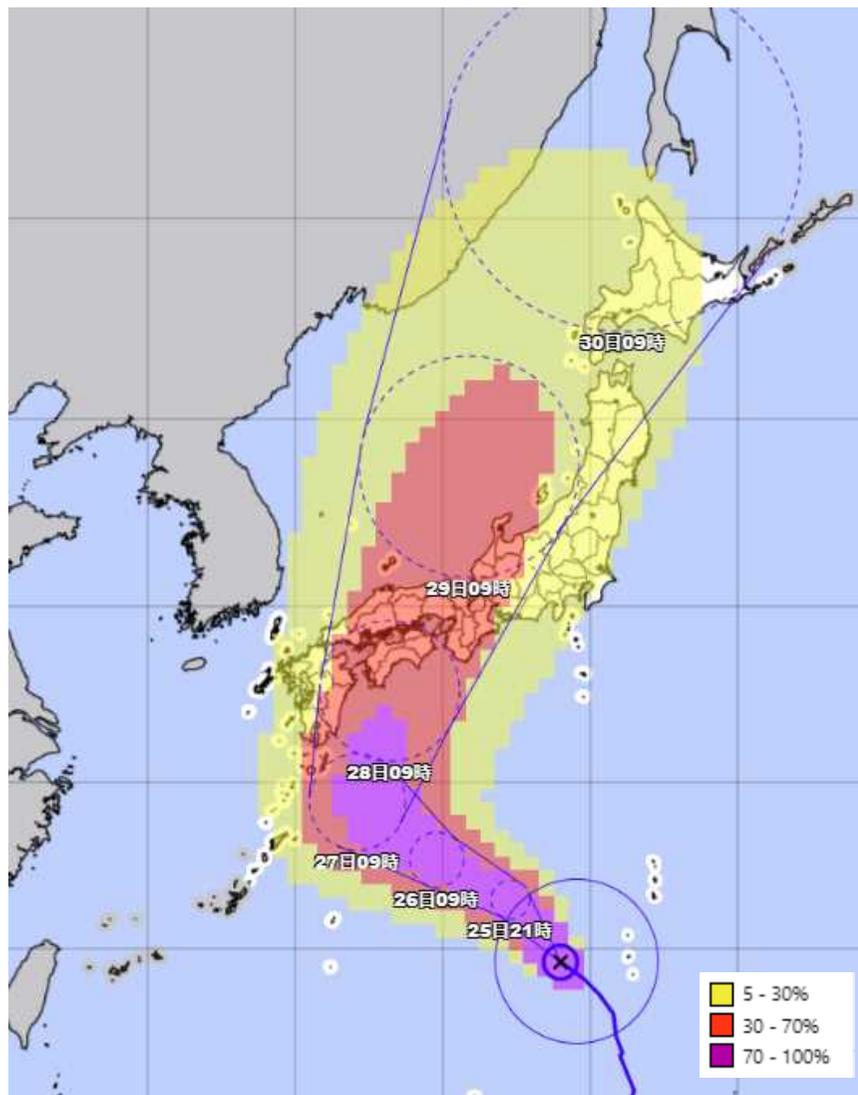
28日09時の予報

28日09時の予報	
種別	台風
強さ	強い
存在地域	四国沖
予報円の中心	北緯32度35分 (32.6度) 東経133度10分 (133.2度)
進行方向、速さ	北北東 15 km/h (8 kt)
中心気圧	955 hPa
中心付近の最大風速	40 m/s (80 kt)
最大瞬間風速	60 m/s (115 kt)
予報円の半径	220 km (120 NM)
暴風警戒域	全域 350 km (190 NM)

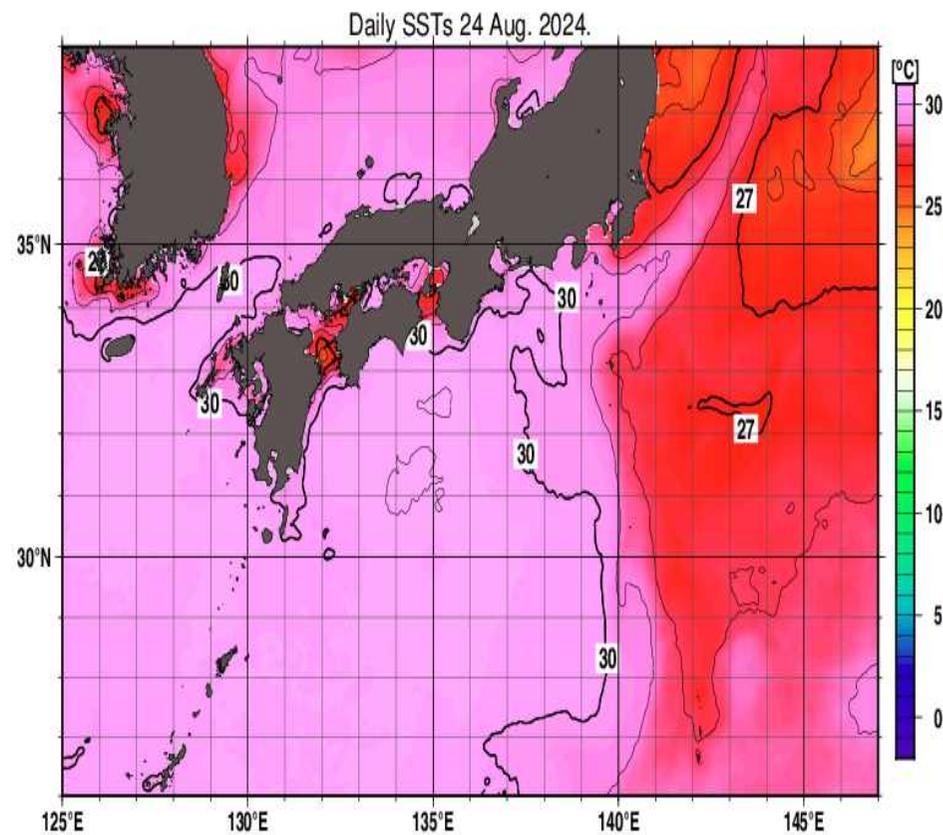
29日09時の予報

29日09時の予報	
種別	台風
強さ	-
存在地域	日本海
予報円の中心	北緯38度40分 (38.7度) 東経135度55分 (135.9度)
進行方向、速さ	北北東 30 km/h (16 kt)
中心気圧	975 hPa
中心付近の最大風速	30 m/s (60 kt)
最大瞬間風速	45 m/s (85 kt)
予報円の半径	320 km (175 NM)
暴風警戒域	全域 450 km (245 NM)

暴風域に入る確率と海面水温



暴風域に入る確率（5日先まで）
8月25日9時現在の予想



海面水温 8月24日の実況

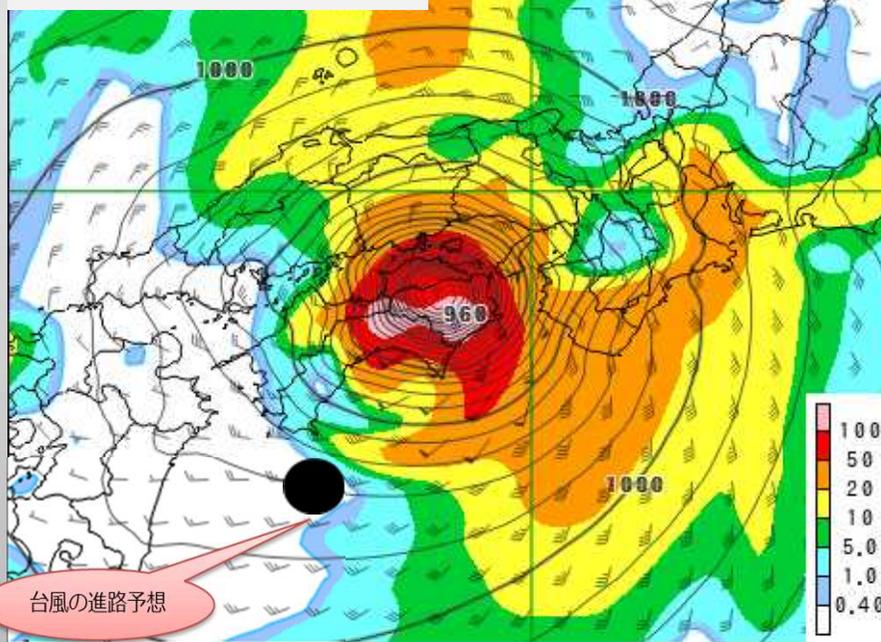
防災事項（29日頃にかけて） 25日11時現在

- 台風が予報円の中心を通った場合、台風は四国地方を北上し、28日頃、近畿地方に近づく。
- 南東～南よりの湿った空気が吹き付ける紀伊半島の南東斜面を中心に、台風が近づく前から断続的に雨が降り、28日は台風本体の雨雲がかかる可能性がある。このため27日は滋賀県・奈良県・和歌山県で、28日は近畿地方全域で警報級の大雨となる可能性がある。
- 台風が接近する28日頃は猛烈な風や猛烈なしけとなるおそれがある。
- 28日頃は近畿地方では、高潮警報を発表する可能性がある。

この図は数値予報の計算結果をそのまま画像化したものであり、実際に発表する天気予報や台風予報等とは異なります。降水や波の面的分布をイメージとして、ご覧ください。

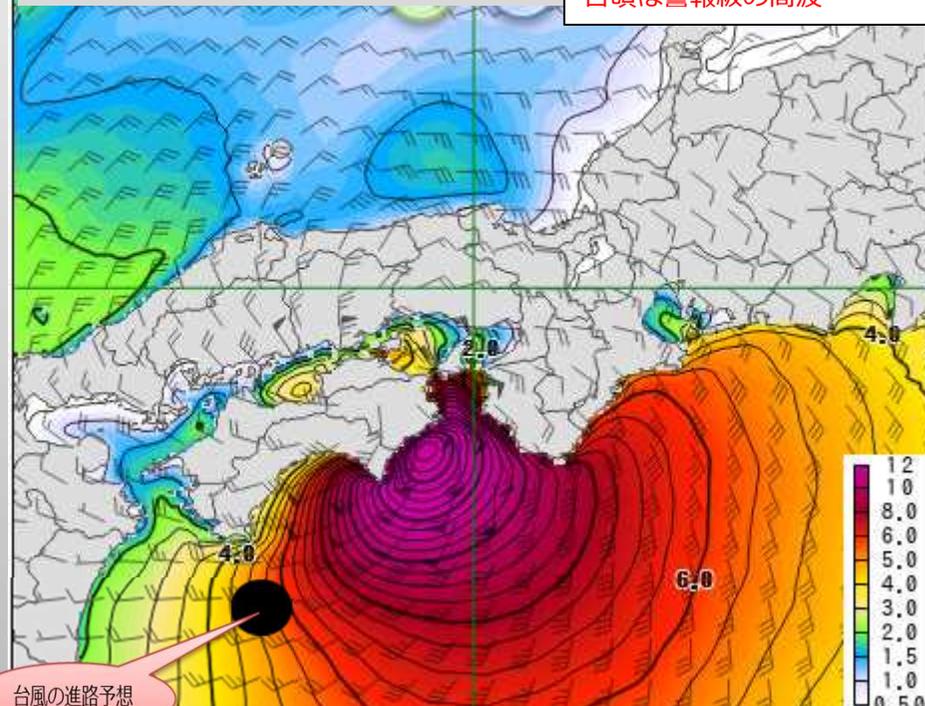
数値予報28日09時予想
(3時間降水予想)

予報円の中心の通った場合は、
四国地方を北上する



波浪・海上風 28日9時の予想

近畿南部を中心に27日から28日頃は警報級の高波



今後の気象状況 近畿地方への影響 25日 11時現在

		27日				28日
		0-6時	6-12時	12-18時	18-24時	0-24時
台風最接近						
大雨・洪水 (ミリ)	近畿北部					
	近畿中部					
	近畿南部					
雷	近畿北部					
	近畿中部					
	近畿南部					
暴風 (メートル)	近畿北部陸上					
	近畿北部海上					
	近畿中部陸上					
	近畿中部海上					
	近畿南部陸上					
	近畿南部海上					
波浪 (メートル)	近畿北部					
	近畿中部					
	近畿南部					
高潮 (メートル)	近畿北部					
	近畿中部					
	近畿南部					

警報級
 注意報級
 早期注意情報[中]

風()は瞬間風速		27日
近畿北部	陸上	8(20未満)メートル
	海上	12(25)メートル
近畿中部	陸上	15(20未満)メートル
	海上	20(30)メートル
近畿南部	陸上	15(30)メートル
	海上	20(30)メートル
波		27日
近畿北部	1メートル	
近畿中部	4メートル(うねり)	
近畿南部	6メートル(うねり)	

24時間降水量 (26日12時~27日12時)	
近畿北部	10ミリ
近畿中部	100ミリ
近畿南部	150ミリ
24時間降水量 (27日12時~28日12時)	
近畿北部	120ミリ
近畿中部	200ミリ
近畿南部	300ミリ

※今後の台風の進路により変わる可能性もあります。気象庁ホームページ等で最新の台風情報等を参照ください。

今後の気象状況 大阪府への影響

		27日				28日
		0-6時	6-12時	12-18時	18-24時	0-24時
台風最接近						
大雨・洪水 (ミリ)	大阪府					
雷	大阪府					
暴風 (メートル)	陸上	6 	8 	10 	10 	
	海上	8 	10 	12 	12 	
波浪 (メートル)	大阪府	0.5	1	1	1	
高潮 (メートル)	大阪府					

警報級
注意報級
早期注意情報[中]

いずれも多いところで

- ・24時間降水量 (26日12時～27日12時)
30ミリ
- ・24時間降水量 (27日12時～28日12時)
120ミリ

- ・最大風速(最大瞬間風速)
27日
陸上 10(20)メートル
海上 12(25)メートル
- ・波
27日
1メートル

※今後の台風の進路により変わる可能性もあります。気象庁ホームページ等で最新の台風情報等を参照ください。

早期注意情報（30日まで）と三重県の量予想

警報級の可能性（明後日以降）

細分名	雨				雪				風（風雪）				波				高潮			
	27日	28日	29日	30日	27日	28日	29日	30日	27日	28日	29日	30日	27日	28日	29日	30日	27日	28日	29日	30日
〔兵庫県〕兵庫県	-	中	-	-	なし	なし	なし	なし	-	中	中	-	中	高	中	-	-	中	-	-
〔京都府〕京都府	-	中	-	-	なし	なし	なし	なし	-	中	中	-	-	中	-	-	-	中	-	-
〔滋賀県〕滋賀県	中	中	-	-	なし	なし	なし	なし	-	中	中	-								
〔大阪府〕大阪府	-	中	-	-	なし	なし	なし	なし	-	中	中	-	-	中	中	-	-	中	-	-
〔奈良県〕奈良県	中	中	-	-	なし	なし	なし	なし	-	中	-	-								
〔和歌山県〕和歌山県	中	中	-	-	なし	なし	なし	なし	中	高	-	-	高	高	-	-	-	中	-	-
〔三重県〕三重県	中	高	-	-	なし	なし	なし	なし	-	高	-	-	中	高	-	-	-	-	-	-

三重県の量予想

いずれも多いところで

- ・24時間降水量（26日12時～27日12時）
 - 北中部 100ミリ
 - 南部 200ミリ
- ・24時間降水量（27日12時～28日12時）
 - 北中部 200ミリ
 - 南部 500ミリ

・最大風速（最大瞬間風速）

27日

- 北中部 陸上 10（20）メートル
- 海上 12（25）メートル
- 南部 陸上 12（25）メートル
- 海上 18（30）メートル

・波

27日

- 北中部 2メートル（うねり）
- 南部 5メートル（うねり）

- ✓ お住いの地域がどのような災害が起こりやすいかハザードマップ等で確認するなど、台風への十分な備えをお願いします。
- ✓ 28日頃は、台風が近畿地方に接近し上陸するおそれもあります。気象台が発表する警報・注意報などの最新の気象情報、キキクル（危険度分布）を普段以上にこまめに確認するとともに、市町村からの避難に関する情報等に留意してください。
- ✓ 近畿地方では28日頃を中心に台風第10号の影響で交通機関が大きく乱れる可能性があります。イベントや遠出の予定のある方は、予定を変更するなど、交通機関からの情報に留意してください。また山や海などのレジャーなどにおいても気象情報や交通情報に留意してください。

参考資料：関連資料の掲載場所

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

- 気象警報・注意報（大雨、洪水、暴風（雪）、波浪、高潮、大雪などによる災害への警戒・注意を呼びかける）

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>

- キキクル(危険度分布)（どこで土砂災害、浸水害、洪水害の危険度が高まると予測されているかを地図上で表示）

土砂キキクル(危険度分布) <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land>

浸水キキクル(危険度分布) <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:inund>

洪水キキクル(危険度分布) <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood>

- 各地の気象情報（気象概況や大雨の見通し）

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>

- 台風情報（台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し）

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>

- 指定河川洪水予報（国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測）

<https://www.jma.go.jp/bosai/flood/>

- 土砂災害警戒情報（命に危険が及ぶ土砂災害の発生が切迫したときに厳重な警戒を呼びかける）

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>

- 最新の気象データ（雨雲の動き（降水・雷・竜巻ナウキャスト）、今後の雨、雨や風の観測データ、衛星画像）

<https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>

<https://www.jma.go.jp/bosai/kaikotan/>

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html

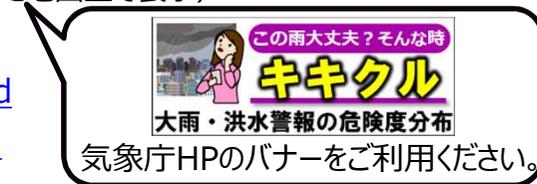
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=himawari>

- 14か国語による防災気象情報の提供

<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>

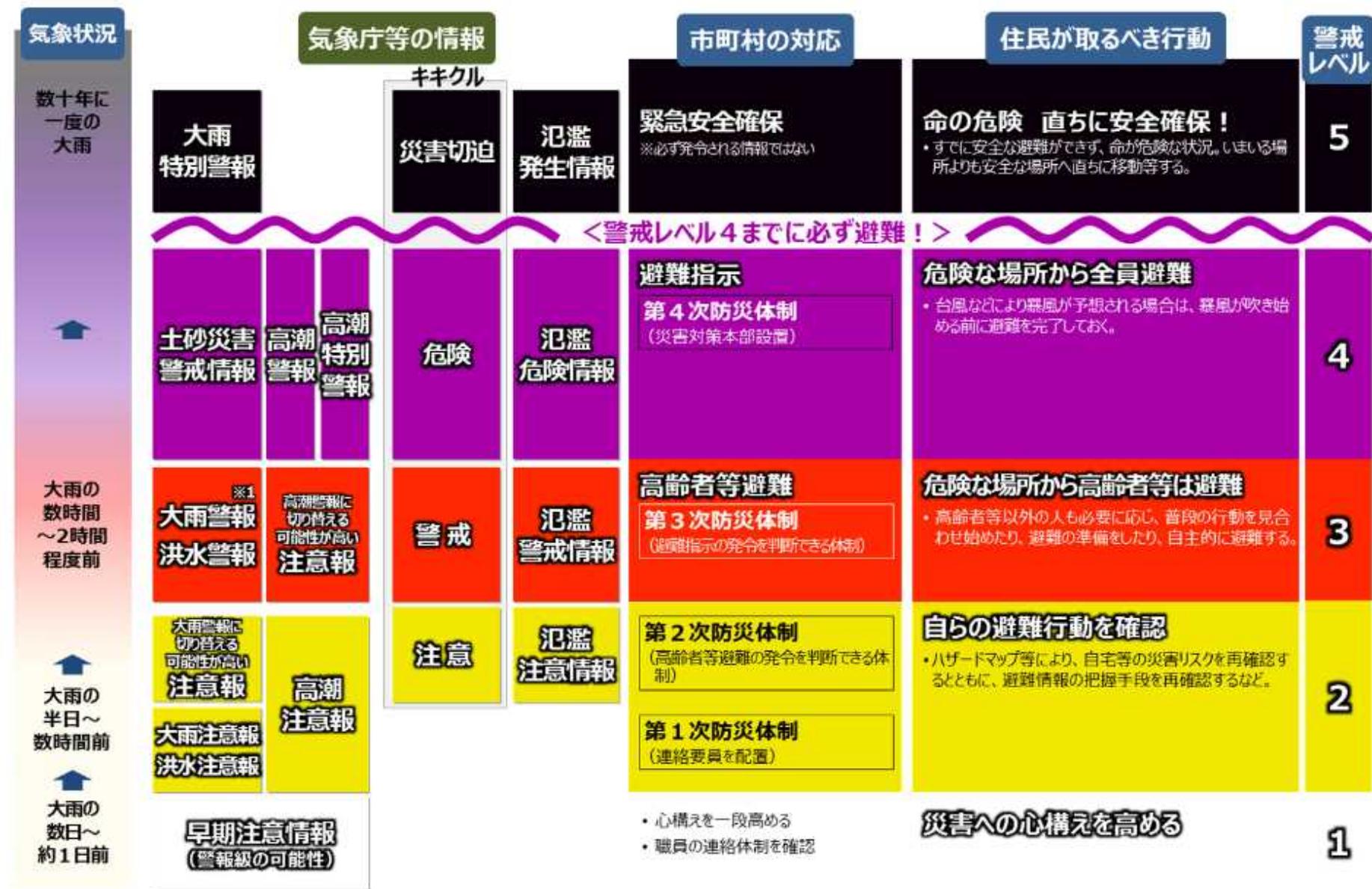
- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））

http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf



[@JMA_bousai](https://twitter.com/JMA_bousai)
気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。

参考資料：5段階の警戒レベルと防災気象情報



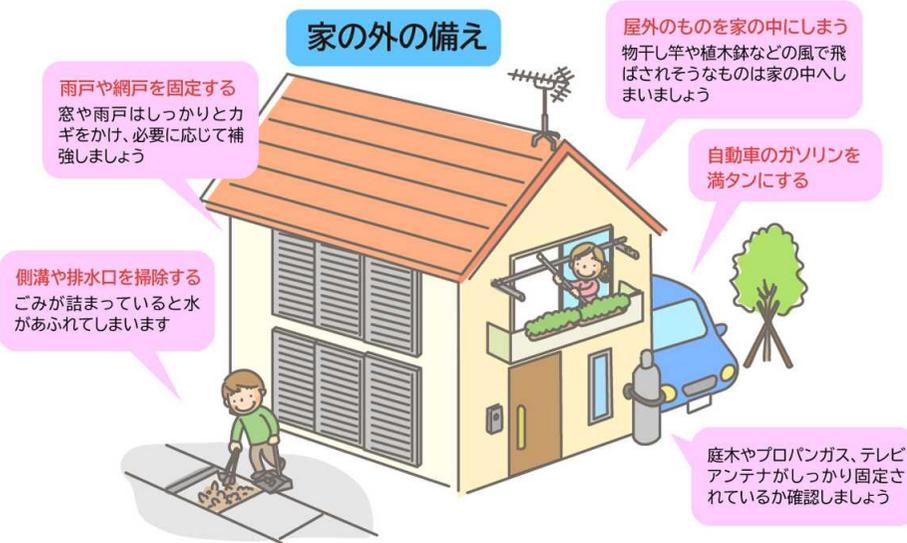
※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

(参考) 暴風による災害への備え

- ▶ 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- ▶ 特に土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- ▶ 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

〇〇市		今後の推移 (■警報級 ■注意報級)										備考・関連する現象										
発表中の警報・注意報等の種別		〇〇日																				
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6												
風風	風向風速 (矢印・メートル)	陸上	3	10	15	20	25	20	13	10	10	海上	10	12	20	25	35	30	15	10	10	以後も注意報級
			陸上では昼過ぎから風速20メートル																			



※ 内閣府政府広報オンラインより。

平均風速 (m/s) おおよその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の様子	建造物	おおよその瞬間風速 (m/s)
20~25 ~約90km/h	何かにつかまっていなくて立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。 	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が壊れる。 	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。 	30
25~30 ~約110km/h			養生の不十分な仮設足場が崩落する。 	40
30~35 ~約125km/h				
35~40 ~約140km/h	走行中のトラックが横転する。 		外装材が広範囲にわたって飛散する。 	50
40~ 約140km/h		多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。 	住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。 	60

※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。
 ※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。
 ※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html)

(参考) 高波・高潮による災害への備え

- 台風の接近に伴い、沿岸では命に危険を及ぼすような高波や高潮のおそれがあります。特に、高潮で潮位が高くなっている時は、普段は波が来ないようなところまで波が押し寄せる事があります。むやみに海岸には近付かないでください。
- 高波や高潮に警戒が必要なタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。
- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及ぶため、特に高潮時に浸水のおそれがある区域では、風雨が強まる前のタイミングで対応をとることが重要です。

波浪・高潮注意報等で今後の推移について確認

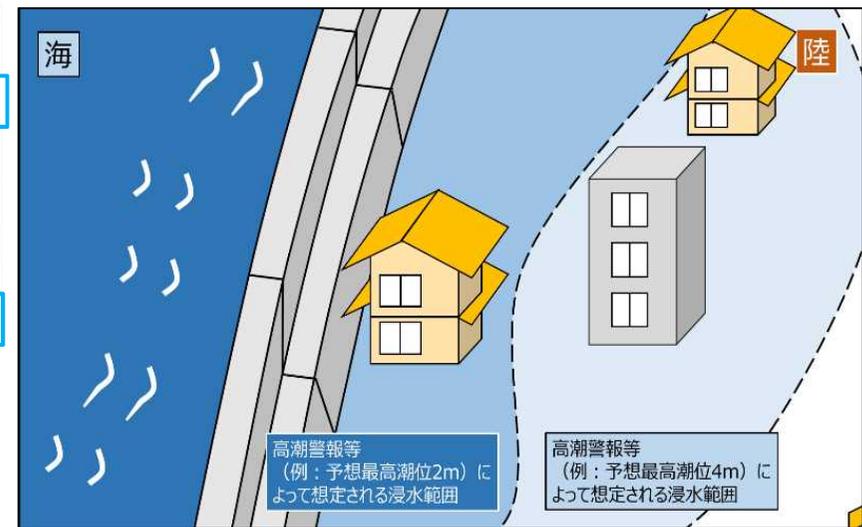
〇〇市の警報・注意報 (今後の推移)										
年 月 日 時 分 発表										
〇〇市	22日						23日		備考	
	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	00-03		03-06
大雨(浸水)	30	50	50	50	50	50	50	60	60	予想される波の高さ 以後も警報級 つねり 以後も警報級 ピークは3時頃 以後も注意報級
暴風	23	25	25	30	30	35	40	40	40	
波浪	8	8	9	9	10	10	10	10	11	
高潮	1.7	1.7	0.7	0.7	1.8	1.8	1.7	1.8	2.0	
雷										

■ 大雨特別警報 *1 高潮警報に切り替える可能性が高い
■ 特別警報(大雨以外)・高潮警報・土砂災害警戒情報 *2 上記以外の高潮注意報
■ 警報(高潮以外)・高潮注意報(*1)
■ 注意報(高潮以外)・高潮注意報(*2)
■ 予想期間外

※潮位が上昇する前に暴風が吹く予想

※高潮や高潮と重なり合った高波による浸水に警戒

高潮時に浸水のおそれがある区域

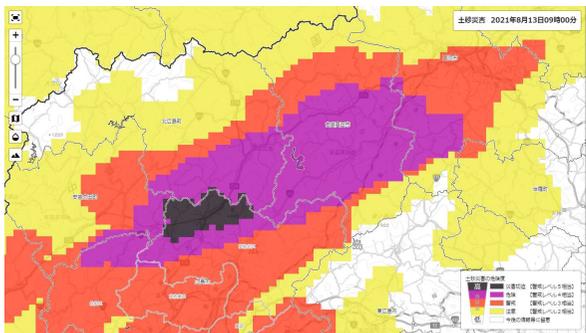


高波や高潮による災害の事例



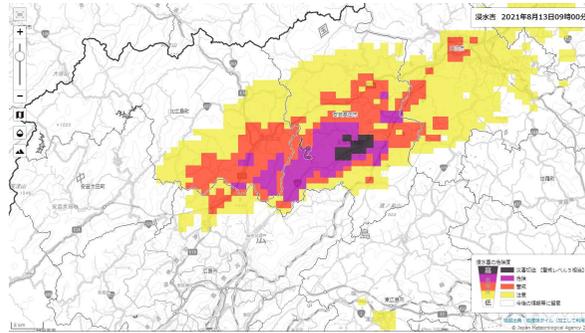
土砂キキクル

大雨警報（土砂災害）の危険度分布



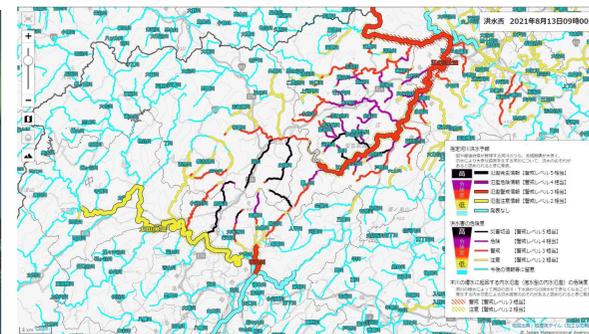
浸水キキクル

大雨警報（浸水害）の危険度分布



洪水キキクル

洪水警報の危険度分布



**「紫」が出現した段階で
速やかに安全な場所に避難する判断を！**

「キキクル」の「災害切迫（黒）」は、大雨による災害がすでに発生している可能性が高い状況であり、災害が発生する前にいつも出現するとは限りません。このため、「黒」を待つことなく、「紫」が出現した段階で、速やかに安全な場所に避難することが極めて重要です。

参考資料：キキクルの危険度の高まりを見逃さないように

国土交通省 気象庁 Japan Meteorological Agency

ENGLISH Other Languages 文字サイズ変更 標準 大

気象庁防災情報 Twitter 気象庁 Twitter 気象庁 知識・解説 YouTube 気象庁 YouTube Google 提供 検索

ホーム 防災情報 各種データ・資料 地域情報 知識・解説 各種申請・ご案内

気象科学館

コンテンツの閲覧方法について (よくお寄せいただく質問) **ここをクリック**

防災情報 天気 **キキクル (危険度分布)** 大雨・台風 地震・火山

被災地域等への支援情報

または、このバナーをクリック

この雨大丈夫？そんな時 **キキクル** 大雨・洪水警報の危険度分布

火山登山者向けの情報提供ページ

津波から身を守るために **津波フラッグ** 海岸付近でこの津波フラッグを見たらすぐに避難

キキクルが表示

トップページのバナーをタップ

土砂災害 浸水害 洪水 ハザードマップと重ね合わせ

他の災害の危険度を確認できる
ハザードマップと重ね合わせできる

参考資料：風の強さ

風の強さと吹き方

(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成19年4月一部改正)、(平成25年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

風の強さと吹き方(pdf)

風の強さ (予報用語)	平均風速 (m/s)	おおよその時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	おおよその瞬間風速 (m/s)
やや強い風	10以上 15未満	～50km	一般道路 の自動車	風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。 電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平に なり、高速運転中では横風に 流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15以上 20未満	～70km		風に向かって歩けなくなり、 転倒する人も出る。 高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。 看板やトタン板が外れ始め る。	高速運転中では、横風に流さ れる感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるもの がある。 雨戸やシャッターが揺れる。	
非常に強い風	20以上 25未満	～90km	高速道路 の自動車	何かにつかまっていなくて 立ってられない。 飛来物によって負傷するおそ れがある。	細い木の幹が折れたり、根 の張っていない木が倒れ始 める。 看板が落下・飛散する。 道路標識が傾く。	通常で速度で運転するのが 困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するもの がある。 固定されていないプレハブ小屋が移 動、転倒する。 ビニールハウスのフィルム(被覆材) が広範囲に破れる。	40
	25以上 30未満	～110km					固定の不十分な金属屋根の葺材が めくれる。 養生の不十分な仮設足場が崩落する。	
猛烈な風	30以上 35未満	～125km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。 電柱や街灯で倒れるもの がある。 ブロック壁で倒壊するもの がある。	走行中のトラックが横転する。	外装材が広範囲にわたって飛散し、 下地材が露出するものがある。	50
	35以上 40未満	～140km					住家で倒壊するものがある。 鉄骨構造物で変形するものがある。	
	40以上	140km～						

(注1) 強風によって災害が起こるおそれのあるときは強風注意報を、暴風によって重大な災害が発生するおそれのあるときは暴風警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは暴風特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

(注2) 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。風の吹き方は絶えず強弱の変動があり、瞬間風速は平均風速の1.5倍程度になることが多いですが、大気の状態が不安定な場合等は3倍以上になることがあります。

(注3) この表を使用される際は、以下の点にご注意下さい。

1. 風速は地形や周りの建物などに影響されますので、その場所での風速は近くにある観測所の値と大きく異なることがあります。
2. 風速が同じであっても、対象となる建物、構造物の状態や風の吹き方によって被害が異なる場合があります。この表では、ある風速が観測された際に、通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。
3. 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。今後、表現など実状と合わなくなった場合には内容を変更することがあります。

参考資料：雨の強さ

雨の強さと降り方

(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成29年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の 受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～ 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20以上～ 30未満	強い雨	どしゃ降り				ワイパーを速くしても見づらい
30以上～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	傘をさしていてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)
50以上～ 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)			水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる	傘は全く役に立たなくなる			

(注1) 大雨によって災害が起こるおそれのあるときは大雨注意報や洪水注意報を、重大な災害が起こるおそれのあるときは大雨警報や洪水警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは大雨特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

(注2) 数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測・解析したときには記録的短時間大雨情報を発表します。この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。なお、情報の基準は地域によって異なります。

台風の大きさと強さ

気象庁は台風のおおよその勢力を示す目安として、下表のように風速(10分間平均)をもとに台風の「大きさ」と「強さ」を表現します。「大きさ」は強風域(風速15m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲)の半径で、「強さ」は最大風速で区分しています。

さらに、風速25m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲を暴風域と呼びます。

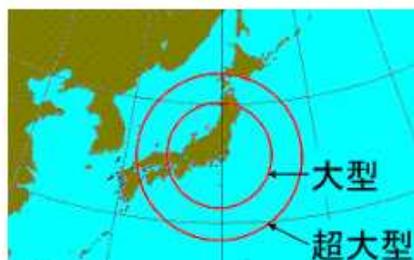
強さの階級分け

階級	最大風速
強い	33m/s(64ノット)以上～44m/s(85ノット)未満
非常に強い	44m/s(85ノット)以上～54m/s(105ノット)未満
猛烈な	54m/s(105ノット)以上

大きさの階級分け

階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上～800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

大型、超大型の台風それぞれの大きさは、日本列島の大きさと比較すると以下ようになります。



台風に関する情報の中では台風の大きさと強さを組み合わせて、「大型で強い台風」のように呼びます。ただし、強風域の半径が500km未満の場合には大きさを表現せず、最大風速が33m/s未満の場合には強さを表現しません。例えば「強い台風」と発表している場合、その台風は、強風域の半径が500km未満で、中心付近の最大風速は33～43m/sで暴風域を伴っていることを表します。

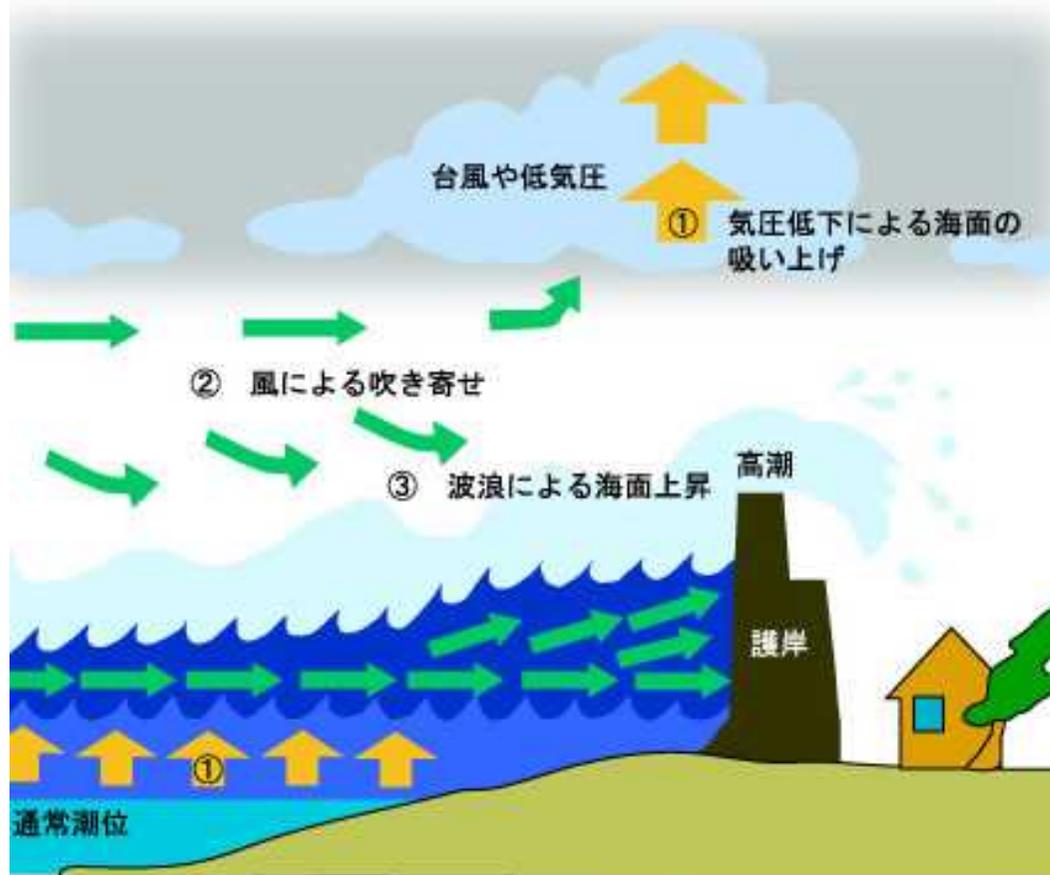
なお、台風情報では暴風域を円形で示します。この円内は暴風がいつ吹いてもおかしくない範囲です。

台風により、

- ①気圧低下により海面の上昇
- ②風による吹き寄せ
- ③波浪による海面の上昇

の相乗効果により高潮の可能性が高くなります。

特に台風の進行方向の右側では風も強くなり、海面の上昇が起きやすく、特にV字型の湾では奥に行くほど海面上昇が助長されます。



天気予報では、1日を3時間ごとに区切って、表現しています。

時間帯	一日の時間細分		
00:00～03:00	未明	午前中	
03:00～06:00	明け方		
06:00～09:00	朝		
09:00～12:00	昼前	午後	日中
12:00～15:00	昼過ぎ		
15:00～18:00	夕方		
18:00～21:00	夜のはじめ頃	夜	
21:00～24:00	夜遅く		

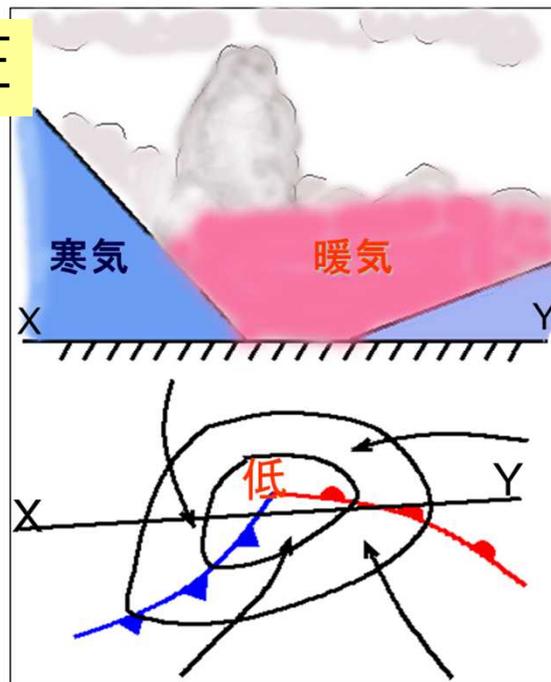
参考資料：台風と熱帯低気圧の違い

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼びますが、このうち北西太平洋（赤道より北で東経180度より西の領域）または南シナ海に存在し、なおかつ**低気圧域内の最大風速（10分間平均）がおよそ17m/s（34ノット、風力8）以上のものを「台風」と呼びます。**

参考資料：台風と温帯低気圧の違い

温帯低気圧

寒気・暖気の温度差をエネルギーに発生・発達



X-Yの線で切った断面図

上から見た図

熱帯低気圧

熱帯の大量の暖かく湿った空気をエネルギーに発生・発達

